

## ブース形（深形）レンジフードファン（強制同時給排気タイプ）

形名

V-604KCQ4

V-604KCQ4-BL

優良住宅部品「BL」認定  
(BL規格強制給排気型IV型)

### 取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前に、必ずこの取付工事説明書をお読みください。

取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

- 本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（内装材の制限、可燃物との距離の制限、ジャバラの使用など）がありますので、詳細は行政官庁または、消防署にお問い合わせください。
- 接続ダクトはφ 150の鋼板管・スパイラルダクトのいずれかをご用意ください。

■別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。





## 安全のために必ず守ること




誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

**警告** 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの





**注意** 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

### 警告

	交流 100V 以外では使用しない
禁止	火災や感電の原因になります。
	製品を水につけたり、水をかけたりしない
水かけ禁止	ショートや感電の原因になります。
	分解・修理はしない
分解禁止	火災・感電・けがの原因になります。
	外気の取り入れは、燃焼ガスなどの排気を吸い込まない位置を選ぶ
指示に従う	新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる恐れがあります。

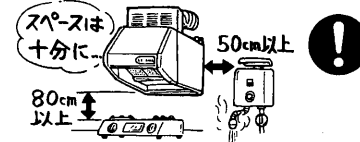
	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に取付ける場合、本体とメタルラス張り、ワイヤラス張り、金属板とが電気的に接触しないように取付ける
指示に従う	漏電した場合発火の原因になります。
	アースを確実に取付ける
アース確認	故障や漏電した場合感電の原因になります。
	ランプを交換するときやお手入れの際は電源プラグを抜くか、分電盤ブレーカーを切る
プラグを抜く	感電やけがの原因になります。

### 注意

	指定以外のランプを使用しない		指示に従う
禁止	ランプの周辺が高温になり、やけどの原因になります。		部品の取付けは確実に 落下によりけがの原因になります。
	直接水がかかる場所や湿気が多い場所には取付けない		接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります。
水場使用禁止	感電や故障の原因になります。	取付けの際は、手袋を着用する	けがの原因になります。
	本体の取付工事は十分強度のある所を選んで確実に 落下によりけがの原因になります。		

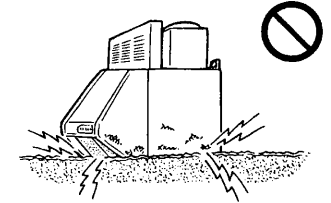
### お願い

下図の寸法を守る  
(本体の下端からガスレンジまでは 80 cm 以上必要です)



(モーター故障や排気ガスによる塗装面のサビ発生となります)

直接コンクリートなど、傷のつきやすいもの  
うえには置かない

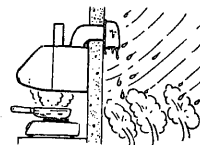


#### ダクト工事

- 給排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上の下りこう配をつけ、先端に屋外フード（システム部材）などを取付けることをおすすめします。また、屋外フードはメンテナンスができる位置に取付けてください。
- 給気ダクトと排気ダクトの先端は排気が給気に混ざらないような位置に設け、また汚れた空気（燃焼ガスなど）を吸い込まない位置に取付けてください。
- 給気ダクトには、結露防止のため断熱処理を行ってください。
- 次のようなダクト工事はしない。(風量低下や異常音発生の原因になります)



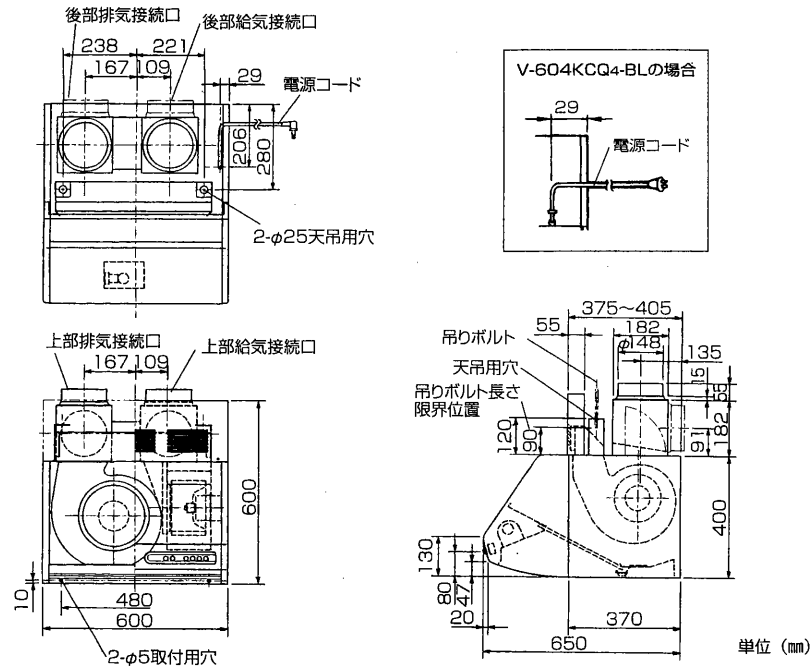
- システム部材の選定には圧損の少ないものを使用してください。(製品性能が得られないことがあります)



給排気ダクトの先端には条件に合ったシステム部材が用意してあります、ご利用ください。

- 鳥などの侵入防止にベントキャップ
- 雨水の浸入防止に深形フード
- 吹き上げが強いところには耐外風高性能フードをおすすめします。
- 給気ダクトに取付ける屋外フードは、防虫網付をご用意ください。

# 外形寸法図

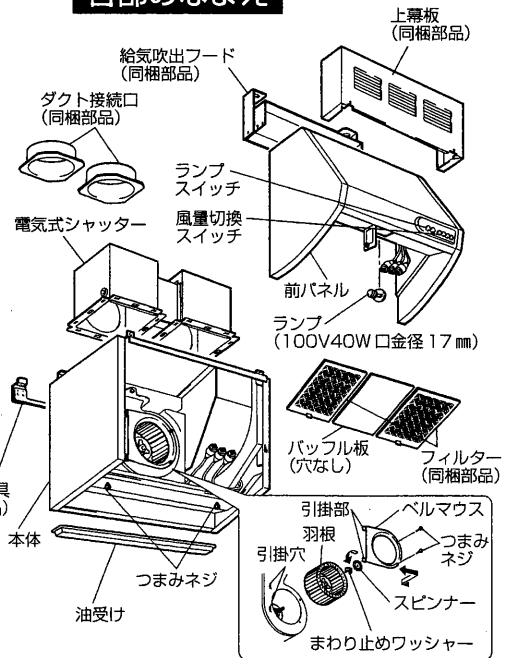


## 付属部品

●下記の付属部品があります。

上幕板取付金具 …左右各2個	天面カバー……………1個
ネジ(銀) ……2本	スペーサ……………2個 (両面テープ付)
ネジ(短) ……8本	木ネジ……………6本
特殊ワッシャー …4個	ゴムワッシャー …4個
	天吊用ワッシャー …4個

## 各部のなまえ



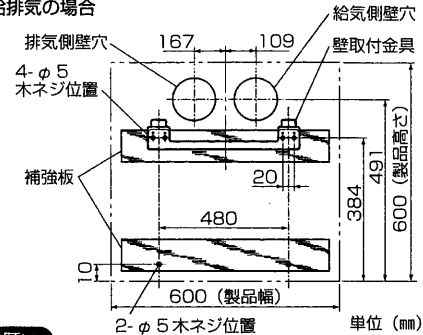
# 取付方法

本体の取付けには、天井取付けと壁取付けがあります。  
この製品は給・排気方向を後・上に選択できます。  
詳しくは裏面を参照ください。

## 1 取付け前の準備

本体を取付ける前にダクト配管・取付壁の準備をします。

後給排気の場合



### 板張りの場合

- 板厚20mm以上の場合は直接壁に取付ける。  
20mm以下の場合は20mm以上になるよう補強板を取付ける。

### コンクリート、タイル、土壁の場合

- 新築の場合はあらかじめ補強板を壁に埋め込む。
- 既築の場合はコンクリートビスなどを利用するが補強板を固定して取付ける。  
(補強板が壁面より露出することになりますのでレンジフードファンは壁に密着しません。)

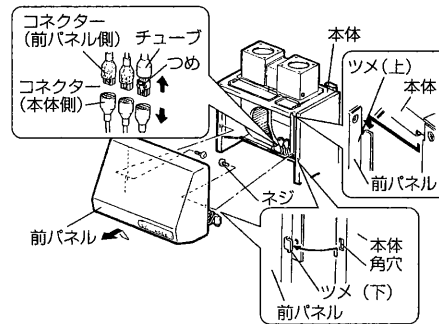
### お願い

- 新築・既築により準備が異なりますがいずれの場合も十分強度をもたせてください。

### ダクト配管

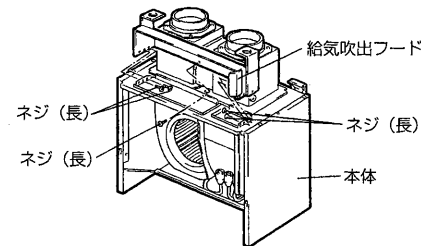
- 壁穴をあけてその中にφ150のダクト(鋼板管・スパイラルダクト)を配管し、その周囲の仕上げを行う。

## 2 前パネルをはずす



- 1 本体内の前パネル側コネクターのチューブをずらし、コネクターのつめを押さえながら本体側コネクターから引き抜く。
- 2 本体内の両側のネジをはずす。
- 3 前パネルの下側を少し上に持ち上げるように手前に引いて、本体から取りはずす。

## 3 給気吹出フードの取付け

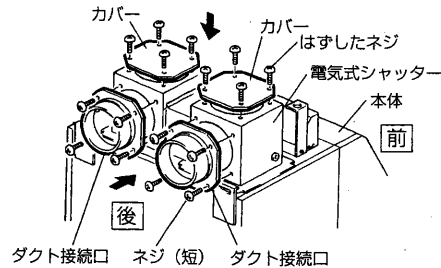
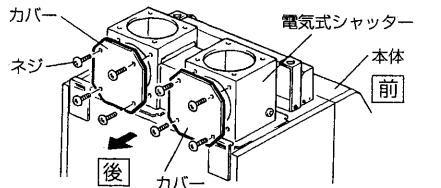
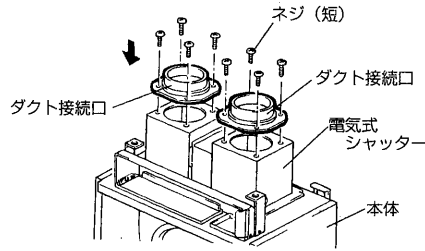
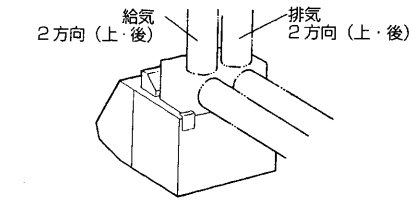


同梱の給気吹出フードを本体に付属のネジ(長)5本で取付ける。

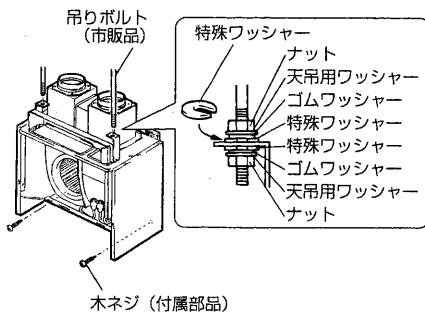
### お願い

- 取付けの際、本体内にネジを落とさないよう注意してください。

## 4 給・排気方向の選択



## 5 天井/壁に取付ける



### ■同梱のダクト接続口の取付け

ダクト接続口は工場出荷時、電気式シャッターの上部に仮固定してあります。

#### 〈上部給排気の場合〉

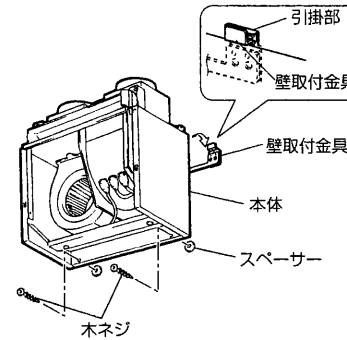
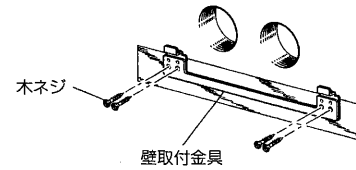
- 1 ダクト接続口のテーピングをはずす。
- 2 ダクト接続口を付属のネジ (短) 各4本で図のように取付ける。

#### 〈後給排気の場合〉

- 1 ダクト接続口のテーピングをはずす。
- 2 後給排気側のカバーをはずす。
- 3 後給排気側にダクト接続口を付属のネジ (短) 各4本で図のように取付ける。
- 4 上部給排気側にカバーをはずしたネジ (各4本) でカバーを図のように取付ける。

### ■天井取付けの場合

- 1 外形寸法図を参照して給排気方向と天吊用穴位置を確認後、吊りボルトを埋め込み、ナット (市販品) と付属の天吊用ワッシャー、ゴムワッシャーを取付ける。
- 2 本体を吊りボルトに吊し、付属の特殊ワッシャーを差し込む。
- 3 左図のように付属のゴムワッシャー、特殊ワッシャー、天吊用ワッシャーを介してナット (市販品) で固定する。
- 4 壁面に向かって本体下部を付属の木ネジ2本で固定する。



### ■壁取付けの場合

壁取付金具を「取付け前の準備」の項を参照して、付属の木ネジ4本で壁面に水平に取付ける。

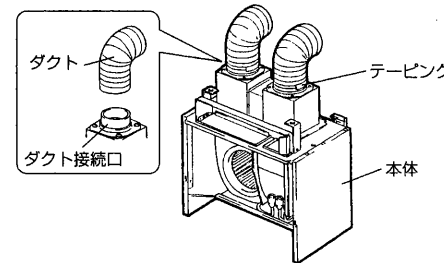
- 1 本体下部のネジ穴に、裏側から付属のスペーサー (両面テープ付) を貼り付ける。(2か所)
- 2 本体の引掛部を壁取付金具に引掛ける。

#### ○お願い

●引掛部が左図のように壁取付金具に入りきっていることを確認してください。

- 3 壁面に向かって本体下部を付属の木ネジ2本で固定する。

## 6 排気ダクトの接続

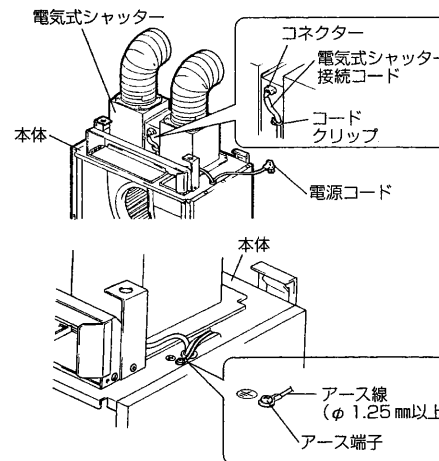


あらかじめ配管してあるダクトとダクト接続口 (給気・排気) を接続し、市販のアルミテープなどで風漏れのないようテーピングする。

#### ○お願い

●ダクト配管の曲がりが多かったり、配管長が長いと風漏れしやすくなるため、その部分にもテーピングしてください。

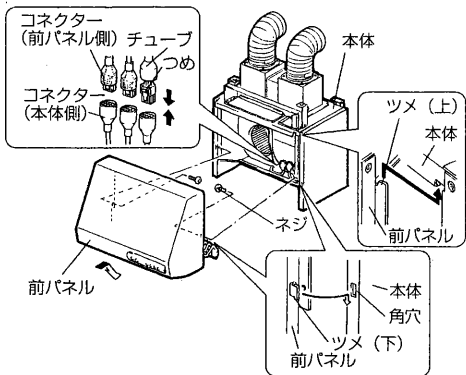
## 7 電気工事



- 1 本体から出ている電気式シャッター接続コードのコネクターを、電気式シャッターのコネクターに、カチッと首がするまでしっかり差し込み、電気式シャッター接続コードをコードクリップで固定する。

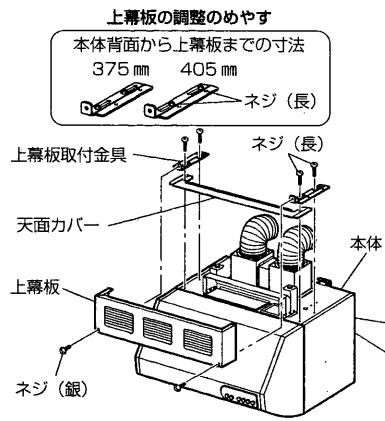
- 2 電源プラグをコンセントに差し込む。
- 3 アース端子を使用して必ずD種 (第3種) 接地工事を実施する。(V-604KCQ4のみ)

## 8 前パネルの取付け



- 1 前パネル上部のツメ (上) を本体上部に引掛ける。
- 2 前パネル下部のツメ (下) を本体下部の角穴に押し込み、カチッと音がするまで下に下げる。
- 3 前パネルと本体を本体内部から図のようにはずしたネジ2本で固定する。
- 4 前パネルのコネクタを本体側のコネクタに差し込み接続する。
  - はずれないことを確認して、チューブをかぶせる。

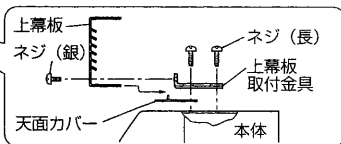
## 9 上幕板/側板の取付け



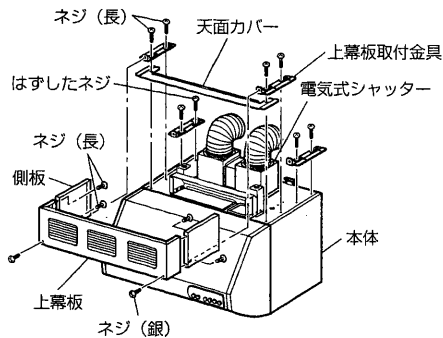
- 1 上幕板取付金具 (方向性あり) を左右に1か所ずつ付属のネジ (長) 各2本で天面カバーとともに取付ける。
- 2 上幕板取付金具と天面カバーの間に上幕板を差し込み、付属のネジ (銀) 2本で上幕板取付金具に固定する。

### ＜上幕板の調整のめやす＞

上幕板取付金具のネジをゆるめて、左図の範囲で上幕板の取付位置を調整します。

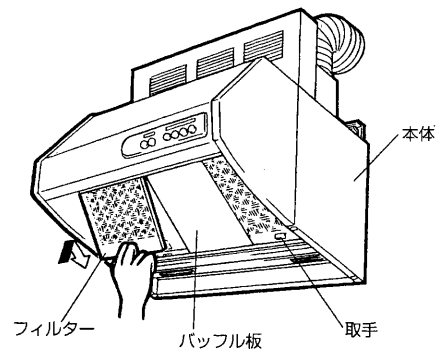


### システム部材の側板 (P-3220KP) を取付ける場合



- 1 電気式シャッターの左側奥のネジをはずす。
- 2 上幕板取付金具 (方向性あり) を左右各2個を天面カバーとともに取付ける。
  - 付属のネジ (長) 7本とはずしたネジ (電気式シャッターと共締め) で固定する。
- 3 側板上幕板に付属のネジ (長) 各2本で取付ける。
- 4 上幕板取付金具と天面カバーの間に上幕板を差し込み、付属のネジ (銀) 2本で上幕板取付金具に固定する。

## 10 フィルター・バッフル板の取付け



■バッフル板とフィルターを本体に取付ける。

- 1 バッフル板は上部を差し込み、下側をはめ込む。

### お願い

●バッフル板は必ず中央になるように取付けてください。(捕集効果を高めるために必要です)

- 2 フィルターの取手を持ち、上部を差し込み、下側をはめ込む。

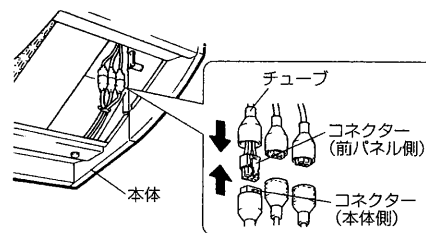
## 試運転

■取付工事が終わりましたら、次の確認をしてください。



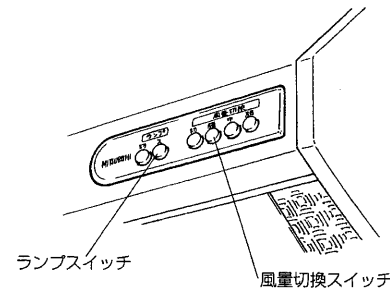
警告

ランプを点検する際は必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤ブレーカーを切る。(感電することがあります)



- 1 本体はしっかりと固定されていますか？ランプはゆるんでいませんか？
- 2 本体内のコネクタが「カチン」と音がするまでしっかり差し込まれていますか？
- 3 D種 (第3種) 接地工事は実施されていますか？

■電源プラグをコンセントに差し込み、次の確認をしてください。



- 1 電源プラグはしっかり差し込まれていますか？
- 2 ランプスイッチ「入」を押すとランプが点灯しますか？
- 3 風量切換スイッチを押して風量が切りかわりますか？
- 4 それぞれの風量で運転した場合、振動や異常音がありませんか？

■試運転後、天井および壁などに内装用接着剤や塗料が使用される場合がありますので、本体の保護のために保護材で覆ってください。

**三菱電機株式会社**

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。